

地域音楽コーディネーター養成講座【オンライン1月】

③地域文化マネジメント

地域連携と音楽活動：
誰もが自由で、創造性を発揮できる共生社会の
実現を目指して

一般社団法人エル・システマジャパン

代表理事 菊川 穰

エル・システマとは



- 南米ベネズエラで約50年前に始まる
- 質の高い音楽教育をみんなに
- 合奏優先、スパイラルカリキュラム
- クラシックだけでなく、ジャズ、ロック、伝統音楽も
- 世界的音楽家を輩出
- 特別支援、刑務所、新生児、病院プログラム
- 世界70以上の国・地域に展開

世界各地での展開

- フランチャイズではなく、inspired プログラムとして、それぞれが独自の背景と制度を持つ
- 様々な社会課題(難民/移民、地域格差、貧困、エスニシティ、障害、自然災害、自殺、孤独等)に対応した内容
- 国家主導型から純粋な民間活動まで様々な形態



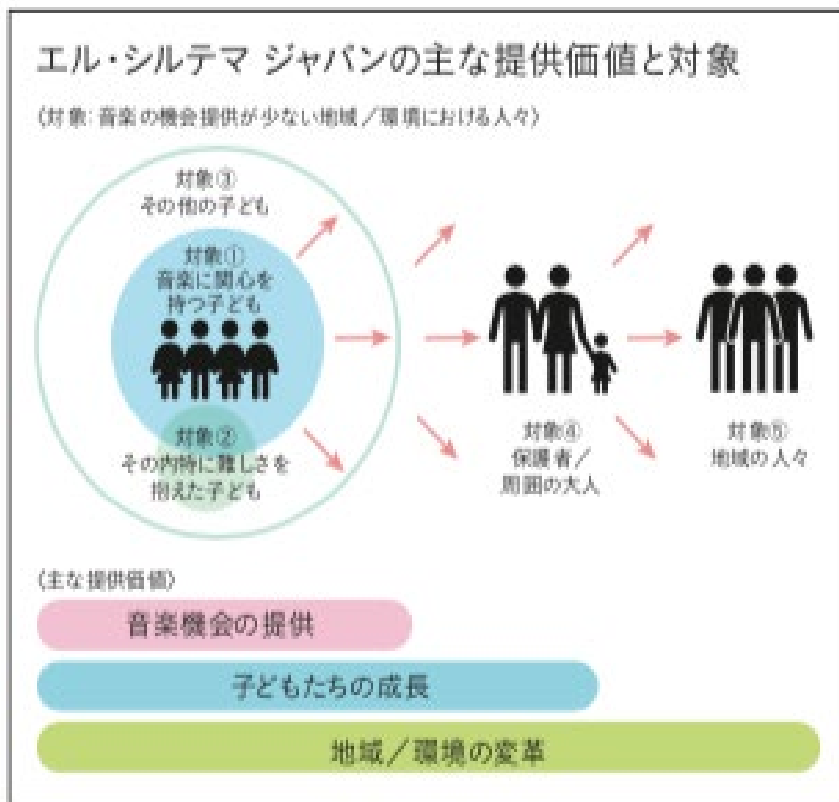
被災地で始まった日本での取組

- 子ども達の尊厳の回復と権利の保障
- 当事者・地域のリアリティを反映（オーナーシップ）
- 学校・行政と共同の持続可能な仕組み（パートナーシップ）
- 音楽を通して生きる力、内発的動機付けを育む
- 誰も取り残されない自由で民主的な居場所
- 機会が限られてきた子ども達への配慮（障害、性的指向、外国ルーツ、社会的養護）
- 働き方改革と部活動の将来：学校から地域へ



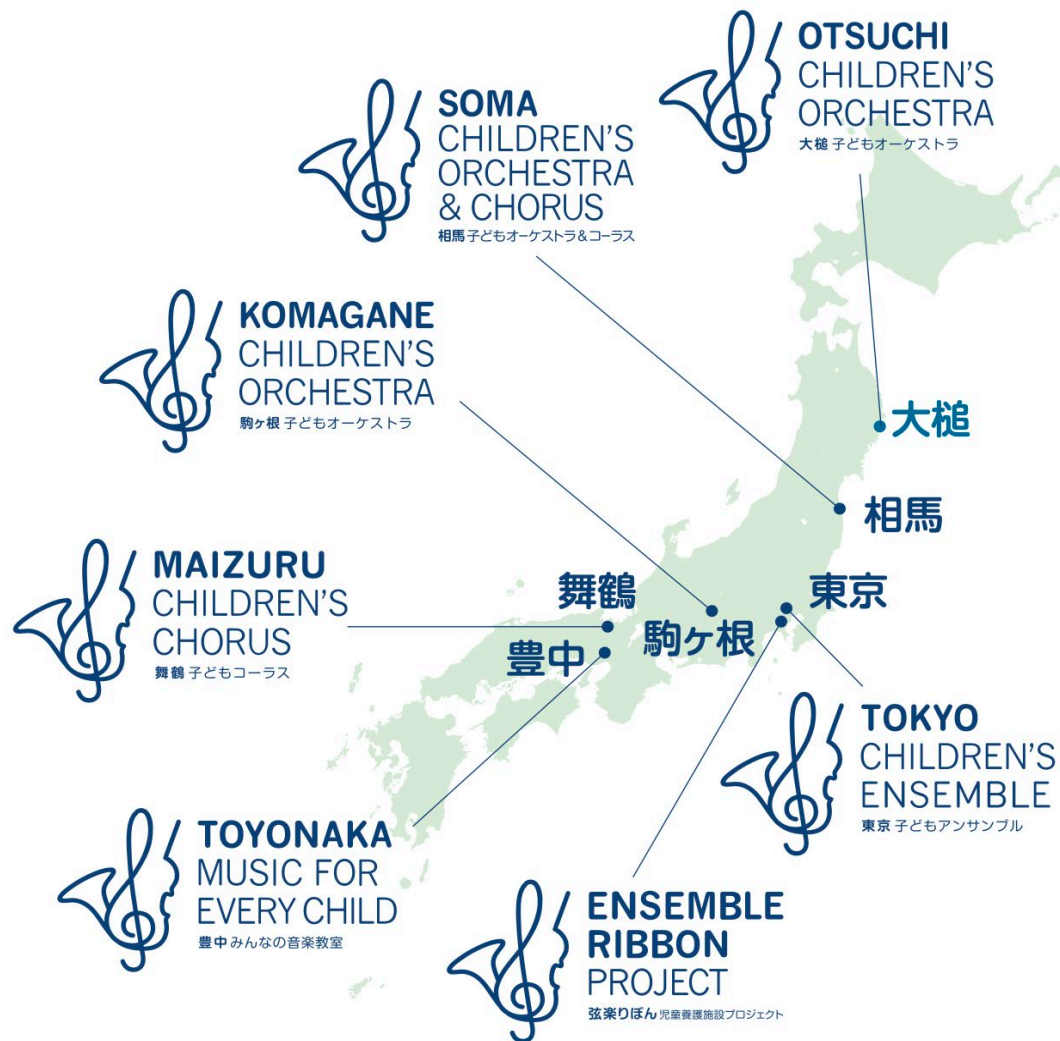
外部評価調査報告(相馬、大槌)

- 慶應義塾大学SFC研究所による3ヶ年調査(2016-18)



	成果項目	結果
2018年度 成果	夢中になれることを見つける	4.6
	先生や友人に受け入れられる	4.3
	多様な相手と出会う	4.2
	グループで物事に取り組む	4.2
3ヶ年成 果(2016 結果 →2018結 果)	地域の良さを伝える	3.6→4.1
	夢中になれることを見つける	4.3→4.6
	先生や友人に受け入れられる	4.0→4.3

- 福島・相馬(2012～:オーケストラ(弦・管)、コーラス、学校授業支援)
- 岩手・大槌(2014～:オーケストラ(弦)、吹奏楽)
- 長野・駒ヶ根2017～:(オーケストラ(弦))
- 東京(2017～:コーラス、2020～:クリエイティブ・ワークショップ)
- 大阪・豊中(2022～:みんなの音楽教室(弦))
- 京都・舞鶴(2022～:コーラス)
- 作曲教室(2013～:相馬、東京、沖縄・読谷、鹿児島・霧島、群馬・中之条)
- 弦楽りぼん・児童養護施設(2023～:川崎、広尾、横浜)



相馬子どもオーケストラ＆コーラス

- 成長した卒業生が先生に
- 地域で支える、地域に貢献する
- 学校への支援



東京子どもアンサンブル

- ・ 歌が好きな子なら、誰でも参加可能なインクルーシブな合唱団
- ・ 全盲/弱視の子が半数以上
- ・ 自閉症等の子も参加
- ・ 音楽指導者にとっての学びの場



クリエイティブ・ワークショップ

- ・ 目で生きる人たちのオンガク
- ・ ろう者の身体や感覚にある「音楽的なもの」についての気づきの場
- ・ ろう当事者のオーナーシップが発揮される文化の創造に向けて



弦楽りぼん・児童養護施設プロジェクト

- 機会が限られている施設の子にとって、仲間と一緒に音楽を学べる場
- 日本中から田中バイオリン工房に寄贈された楽器を再利用



エル・システマ作曲教室

- 世界的作曲家の藤倉大さん監修
- ルールは3つだけ
 - 強制しない(作曲も)
 - 評価しない
 - 楽譜を使う



文化芸術と社会課題：オーナーシップ (Ownership) と パートナーシップ (Partnership)

オーナーシップ：誰の現実を語っているのか？

- 当事者性
- 自己決定権
- 誇りと尊厳

パートナーシップ：双方向依存コミュニケーション？

- 共通の目的、インパクトのための協働
- 誰のため？
- 当事者が自己決定できるため？
- 持続可能性